

<http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>

近畿学校保健学会通信

No. 123

平成21年6月5日発行
近畿学校保健学会事務局
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11
神戸大学大学院人間発達環境学研究所
人間発達論講座川畑研究室内
TEL&FAX 078-803-7739
URL: <http://home.kobe-u.com/kinki-sha/>
kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
郵便振替口座 00940-5-181826

目次

1. 第56回近畿学校保健学会のご案内 2
2. JKYB 健康教育一日ワークショップ大阪プログラム 13
3. 研究室便り 14
4. 平成21年度第1回近畿学校保健学会幹事会報告 16

会費納入と会員勧誘についてのお願い

平成21年度近畿学校保健学会会費を同封の振込用紙にてお振り込み下さい。なお、平成20年度会費未納の方は2年分の額を記載した振込用紙が入っていますので、ご確認の上、振込をお願いします。来年3月31日の時点で、平成20年度と平成21年度の会費を納めておられない方は会員資格を喪失しますので、くれぐれもご留意下さい

学会員の皆様方には、周囲の方々に本学会への入会をお勧め下さいますよう、お願い致します。

ご挨拶

第 56 回近畿学校保健学会
学会長 辻井 啓之

第 56 回近畿学校保健学会を奈良教育大学で開催させていただくにあたり、ご参加いただきます皆様方に篤く御礼申し上げます。

このご挨拶を書かせていただいている現在、兵庫、大阪でメキシコに端を発した新型インフルエンザの蔓延が認められており、学校・園、大学の休校・休講が相次いでおります。医療体制にも混乱がみられ、日々のマスコミ報道も事の本質を見失っているようにも見受けられます。

学校保健の課題は、当初、感染症が大きな位置を占めておりましたが、その後公衆衛生や食生活の変化、子どもをめぐるメディア等環境の変化によって、焦点も様々に多様化してまいりました。現在にいたって、また感染症への対応が大きくクローズアップされることにより、ますます学校保健の重要性が高まっているものと考えております。我々、学校保健に携わる者は、子ども達をめぐる様々な課題の多様化に、しっかりと対応できるように備えていかねばなりません。

本学会においては、一般演題 23 題のお申し込みをいただいております。私事に関わることで恐縮ですが、私、本年の1月に心臓血管系の病気を患いましてかなりの大手術を受けました。それによりまして、演題募集の大切な時期に学会長本人が動けない状態になってしまい、会員の皆様に積極的な働きかけをすることができませず、例年に比べ演題数が少なくなってしまうこととお詫び申し上げます。

しかし一方、お申し込みをいただいた各演題は、大変重要なお取り組みやご研究であり、貴重な発表をいただきます。午前中、2会場にしばりまして、密度の濃いご議論がいただけるものと期待いたしております。

また、特別講演は、「質の高い大学教育推進プログラム」に選定され実施している、本学の「教員養成大学による地域食育推進プログラム～食育オフィスの開設と食育リーダーの養成～」と連携いたしまして、一般にも公開のかたちをとり、「『食は命です』～食育の本音とスローフード～」のタイトルで尾川欣司氏 (Le BENKEI オーナーシェフ、奈良県食育推進会議 副会長、スローフード JAPAN 委員長) にお問い合わせをいたしました。大変興味深いお話をいただけるものと思っております。

シンポジウムは、「学校保健におけるフィジカルヘルスとメンタルヘルス」と題しまして、私がイントロダクションを務めました後、フィジカルヘルス、メンタルヘルス、また学校現場のお立場から、シンポジストの先生方にお話をいただき、その後時間が許す限り、有意義なディスカッションをしたいと思っております。昨年度、大阪教育大学白石龍生先生が担当された本学会で行われた、「これからの学校保健を考える」と題されたシンポジウムをさらに発展させたかたちにてできればと考えております。

ご参加いただいた方々に、有意義な一日をご提供できればと祈念いたします。

最後に、本学会を開催するにあたり、ご支援いただきました、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良県医師会、奈良県歯科医師会、奈良県薬剤師会をはじめとする諸団体に深く御礼申し上げます。また、学会運営にお力を貸していただいた関係者の皆様にこの場を借りて深謝いたします。

第56回 近畿学校保健学会開催要項

第56回近畿学校保健学会会長 辻井啓之

奈良教育大学 保健管理センター

第56回近畿学校保健学会を下記の通り開催します。今学会は学校現場での実践報告も歓迎いたします。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 会場 奈良教育大学 〒630-8528 奈良市高畑町

2. 日時 平成21年6月20日(土) 9:10～17:50

午前・一般演題

昼・評議員会

午後・総会、次期会長挨拶

- ・特別講演(奈良教育大学 食育GP共催)『『食は命です』～食育の本音とスローフード～』

尾川欣司(Le BENKEI オーナーシェフ、奈良県食育推進会議 副会長、スローフードJAPAN 委員長)

司会:鈴木洋子(奈良教育大学 生活科学教育講座 教授)

- ・シンポジウム「学校保健におけるフィジカルヘルスとメンタルヘルス」

基調講演 講師:辻井啓之(学会長、奈良教育大学 教授)

シンポジスト

・養護教諭の立場から 森三恵子(大和郡山市立郡山西中学校 養護教諭)

・保健主事の立場から 宮本和代(香芝市立真美ヶ丘西小学校 校長、奈良県学校保健主事会 会長)

・フィジカルヘルスの立場から 岡本和美(岡本内科こどもクリニック、奈良県医師会学校医部会 副部長、
元奈良県教育委員長)

佐々木一郎(ささき歯科医院、奈良県歯科医師会母子・学校歯科保健委員会
委員長)

・メンタルヘルスの立場から 岩坂英巳(奈良教育大学 教授、特別支援教育研究センター長)

座長:辻井啓之(学会長、奈良教育大学 教授)

3. 参加申込 特に必要ありません。当日会場にお越し下さい。

4. 参加費 正会員 無料(但し、平成21年度会費納入者)、当日会員2,000円、当日学生会員1,000円

5. 懇親会 平成21年6月20日(土)18:00より奈良教育大学 山田ホールにて懇親会を開催いたします。参加費は5,000円
(当日受付有)です。お気軽に、是非ご参加下さい。

◎ 一般演題発表者は共同研究者を含め正会員であることが必要です。会員でない方は、年会費3,000円を下記郵便振替
口座にお振込み下さい。

加入者名 :近畿学校保健学会

加入者番号:00940-5-181826

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 川畑徹朗 研究室内

近畿学校保健学会事務局 TEL&FAX 078-803-7739

プログラム

一般演題 (口演 10分・討論 5分) 9:10~12:10

A会場 (大講義室)

飲酒・喫煙・大学保健管理 9:10~10:10 座長 高橋裕子 (奈良女子大学保健管理センター)

A-1 看護学生への禁煙支援—行動科学に基づく物語風教材の試作—

○氏原曜子¹⁾、吉岡隆之¹⁾、北村義博²⁾ (1)神戸市看護大学、2)フィーリングアーツ研究会)

A-2 同年代における飲酒・喫煙率の予測と自身の飲酒・喫煙行動との関連

○藤宮正規、石川哲也、川畑徹朗、中村晴信、桑原恵介、増山隆太 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)

A-3 やせ大学生の食行動とその関連要因に関する研究

○桑原恵介¹⁾、島井哲志²⁾、石川哲也¹⁾、川畑徹朗¹⁾、甲田勝康³⁾、西尾信宏⁴⁾、藤田裕規³⁾、藤宮正規¹⁾、増山隆太¹⁾、中村晴信¹⁾ (1)神戸大学大学院人間発達環境学研究科、2)南九州大学教養・教職センター、3)近畿大学医学部、4)和歌山県立医科大学医学部)

A-4 大学生の月経時の鎮痛剤使用における問題

○平田まり (関西福祉科学大学 健康福祉学部)

食育・食環境 10:10~11:10 座長 春木 敏 (大阪市立大学大学院)

A-5 小学校5年生社会科学習と連携する“食に関する指導”(第1報)—指導案検討—

○鉄谷佳代、小出真理子、春木 敏 (大阪市立大学大学院生活科学研究科)

A-6 小学校5年生社会科学習と連携する“食に関する指導”(第2報)—実施と評価—

○小出真理子、鉄谷佳代、春木 敏 (大阪市立大学大学院生活科学研究科)

A-7 中学校における総合的な学習の取組について

○鍵谷千加 (奈良県上牧町立上牧中学校)

A-8 子どもから見た家庭の食卓風景と健康 ~動的家族画での検討~

○井上文夫¹⁾、石塚智恵子²⁾、浅井千恵子³⁾、藤原寛⁴⁾ (1)京都教育大学体育学科、2)京都市立東山小学校、3)京都教育大学大学院、4)京都府立医科大学小児科)

精神保健 11:10~11:55 座長 守田幸美 (畿央大学)

A-9 タイの日本人学校における児童生徒のストレス状態

○森岡郁晴¹⁾、内海みよ子¹⁾、大川尚子²⁾、宮井信行³⁾、宮下和久⁴⁾、(1)和歌山医大・保健看護学部、2)関西福祉科学大学、3)大阪教育大、4)和歌山医大・医・衛生学)

第56回近畿学校保健学会プログラム

8:40	受付開始	【受付場所:講義2号棟1階 エントランスホール】
9:10	一般演題発表	
	A会場	【会場:講義4号棟1階 大講義室】
	B会場	【会場:講義1号棟1階 101教室】
12:10		
12:20	評議員会(昼食)	【会場:A会場(講義4号棟1階 大講義室)】
13:10	総会	【会場:A会場(講義4号棟1階 大講義室)】
14:00	特別講演	【会場:講堂(通称:パルテノン)】
	講師:尾川欣司(Le BENKEI オーナーシェフ)	
	「食は命です」—食育の本音とスローフード—	
	司会:鈴木洋子(奈良教育大学 生活科学教育講座 教授)	
15:00		
15:20	シンポジウム	【会場:A会場(講義4号棟1階 大講義室)】
	「学校保健におけるフィジカルヘルスとメンタルヘルス」	
	基調講演:辻井啓之(学会長・奈良教育大学 教授)	
	シンポジスト	
	・森三恵子 (大和郡山市立郡山西中学校 養護教諭)	
	・宮本和代 (香芝市立真美ヶ丘西小学校 校長、奈良県学校保健主事会 会長)	
	・岡本和美 (岡本内科こどもクリニック、奈良県医師会学校医部会 副部長、元奈良県教育委員長)	
	・佐々木一郎 (ささき歯科医院、奈良県歯科医師会 母子・学校歯科保健委員会 委員長)	
	・岩坂英巳 (奈良教育大学 教授、特別支援教育研究センター長)	
	座長:辻井啓之 (学会長・奈良教育大学 教授)	
17:50		
18:00	懇親会	【会場:学生会館・山田ホール】
19:30		

A-10 いじめ被害の影響とレジリエンシーとの関連

○菱田一哉、宋昇勲、李美錦、堺千紘、菅野瑠、三島枝里子、川畑徹朗、
石川哲也、中村晴信（神戸大学大学院人間発達環境学研究所）

A-11 児童養護施設における高機能自閉症スペクトラム障害(ASD)のスクリーニングの課題

○萱村俊哉（武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科）

B会場（101教室）

体格・メタボリックシンドローム 9:10~10:10 座長 白石龍生（大阪教育大学）

B-1 学齢期におけるBMIの年齢変化について（第1報）縦断的資料の検討

○後和美朝¹⁾、五十嵐裕子²⁾、野澤章子³⁾、相馬美年子⁴⁾、中川華菜⁴⁾、
北口和美⁵⁾、宮下和久²⁾、武田眞太郎²⁾（¹⁾大阪国際大、²⁾和歌山医大衛生、
³⁾西宮市教委、⁴⁾市立西宮高校、⁵⁾大阪教育大）

B-2 学齢期におけるBMIの年齢変化について（第2報）対象集団にみられたBMIの動き

○五十嵐裕子¹⁾、後和美朝²⁾、野澤章子³⁾、相馬美年子⁴⁾、中川華菜⁴⁾、
宮井信行⁵⁾、宮下和久¹⁾、武田眞太郎¹⁾（¹⁾和歌山医大衛生、²⁾大阪国際大、
³⁾西宮市教委、⁴⁾市立西宮高校、⁵⁾大阪教育大）

B-3 小児メタボリックシンドロームの評価と問題点

○藤原 寛¹⁾、井上文夫²⁾（¹⁾京都府立医科大学小児科、²⁾京都教育大学体育学科）

B-4 縦断的発育データによるローレル指数を用いた体格発育パターンの分類

○國土将平（神戸大学大学院人間発達環境学研究所）

メディア・性行動・性教育 10:10~10:55 座長 川畑徹朗（神戸大学大学院）

B-5 インターネットが青少年の性行動に及ぼす影響とその関連要因

○宋 昇勲、今出友紀子、菱田一哉、李 美錦、堺 千紘、菅野 瑠、
三島枝里子、川畑徹朗、石川哲也、中村晴信（神戸大学大学院人間発達環境学
研究所）

B-6 小・中学生におけるメディア使用と健康状態との関連

○中村晴信¹⁾、甲田勝康²⁾、石川哲也¹⁾、川畑徹朗¹⁾、西尾信宏³⁾、藤田裕規²⁾、
桑原恵介¹⁾（¹⁾神戸大学大学院人間発達環境学研究所、²⁾近畿大学医学部公衆
衛生学、³⁾和歌山県立医科大学公衆衛生学）

B-7 カフェテリア方式性教育5年目の展開に関する研究

○江崎和子¹⁾、浅田裕美子²⁾（¹⁾京都市教育相談総合センター、²⁾京都市立崇仁
小学校）

学校園環境 10:55~11:25 座長 中谷昭 (奈良教育大学)

B-8 保育園の遊び場における幼児の身体活動レベルの増加—米国ソルトレイクシティの保育園で行われた介入研究—

○永井純子¹⁾、西岡伸紀²⁾、大川尚子³⁾、砂田雅子⁴⁾、田中まりこ²⁾、日垣慶子²⁾、鬼頭英明²⁾、勝野真吾⁵⁾ (¹⁾福山平成大学、²⁾兵庫教育大学、³⁾関西福祉科学大学、⁴⁾兵庫県立大学、⁵⁾岐阜薬科大学)

B-9 事後措置につながった体育館の照度検査結果のヴィジュアル化

○荒川直樹、浜口達子、森田佐由美、北村翰男 (社団法人奈良市薬剤師会 学校薬剤師部会)

養護教諭養成教育・保健室 11:25~12:10 座長 高田恵美子 (奈良県教育委員会)

B-10 養護教諭養成教育における「看護学」の要素に関する研究 (第1報)

—保健室利用における子どもの主訴を中心に—

○出井梨枝¹⁾、北口和美²⁾ (¹⁾園田学園女子大学、²⁾大阪教育大学)

B-11 養護教諭養成教育における「看護学」の要素に関する研究 (第2報)

—養護教諭が経験した子どもの疾病状況—

○北口和美¹⁾、出井梨枝²⁾ (¹⁾大阪教育大学、²⁾園田学園女子大学)

B-12 保健室の位置の評価方法の検討

○石塚智恵子¹⁾、井上文夫²⁾ (¹⁾京都市立東山小学校、²⁾京都教育大学体育学科)

特別講演 (奈良教育大学 食育 GP 共催) 14:00-15:00

講堂 (通称: パルテノン)

司会: 鈴木洋子 (奈良教育大学)

「食は命です」～食育の本音とスローフード～

尾川欣司 (Le BENKEI オーナーシェフ、奈良県食育推進会議 副会長、スローフード JAPAN 委員長)

シンポジウム 15:20-17:50

A会場 (大講義室)

座長: 辻井啓之 (奈良教育大学保健管理センター)

「学校保健におけるフィジカルヘルスとメンタルヘルス」

基調講演 「学校保健におけるフィジカルヘルスとメンタルヘルス」

講師: 辻井啓之 (奈良教育大学 教授、奈良教育大学保健管理センター センター長)

養護教諭の立場から：「中学校での健康相談活動の実践について」

講師：森三恵子（大和郡山市立郡山西中学校 養護教諭）

保健主事の立場から：「保健主事の役割～コーディネーターからイノベーターへ～」

講師：宮本和代（香芝市立真美ヶ丘西小学校 校長、奈良県学校保健主事会 会長）

フィジカルヘルスの立場から：「青少年の健康と未来を守る～現状理解と今後の健康教育～」

**講師：岡本和美（岡本内科こどもクリニック、奈良県医師会学校医部会 副部長、
元奈良県教育委員長）**

フィジカルヘルスの立場から：「最近の歯科疾病予防について」

講師：佐々木一郎（ささき歯科医院、奈良県歯科医師会母子・学校歯科保健委員会委員長）

メンタルヘルスの立場から：「メンタルヘルスの立場から」

**講師：岩坂英巳（奈良教育大学 教授、奈良教育大学特別支援教育研究センター
センター長）**

運営についてのご案内

○受付時間・場所

平成 21 年 6 月 20 日(土) 8:40～

奈良教育大学 講義 2 号棟 1 階 エントランスホール

○受付テーブルの区分

① 評議員

- ・評議員受付で府県名、氏名をお申し出頂き、名札と抄録集をお受け取りください。
- ・平成 21 年度学会費未納の方は、年会費 3,000 円をお納めください。
- ・評議員会出席の方は、受付時に昼食代(1,000 円)を別途お支払いの上、弁当引換券をお受け取りください。

② 一般会員

- ・一般会員受付で府県名、氏名をお申し出頂き、名札と抄録集をお受け取りください。
- ・平成 21 年度学会費未納の方は、年会費 3,000 円をお納めください。

③ 当日会員(参加費:一般 2,000 円、学生・院生 1,000 円)

- ・受付で記入票を受け取り、必要事項をご記入の上、参加費をお納めください。名札と抄録集をお受け取りください。

④ 新規入会希望者

- ・受付で入会申込用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、年会費 3,000 円をお納めください。名札と抄録集をお受け取りください。

⑤ 座長・シンポジスト

- ・受付で氏名をお申し出頂き、名札と抄録集をお受け取りください。

※ 懇親会(会費 5000 円):参加を希望される方は受付にお申し出ください。

※ 名札には氏名・所属を各自で記入して、会場では必ずご着用ください。

○一般演題発表者の方へ

- ① 前演者の口演が始まると同時に、各会場前方の次演者席に、ご着席ください。
- ② 口演時間 10 分、討論時間 5 分です。時間厳守をお願いします。
- ③ スライド発表は全てコンピューター(PC)を使用いたします。動画あるいは音声を使用されない場合は、PC は学会側で準備いたします。動画、音声を使用される場合には、下記⑤をご参照ください。
- ④ 発表データは USB メモリスティックで準備してください。他のメディアは受け付けできません。データの作成は「⑦発表データ作成要項」に従ってください。
- ⑤ 動画と音声を使用する場合には、以下の注意に従ってご自身の PC をお持ち込みください。持ち込みが可能な機種は、モニター出力端子に Dsub-15 ピンが装備されているものに限ります。

ます。薄型 PC では出力端子の規格が異なる場合があります。その場合には接続アダプタをご持参ください。また、学会側が準備したプロジェクターと接続できない場合に備え、「Microsoft PowerPoint で作成した発表用データ」を入れた USB メモリスティックをバックアップとして必ずご持参ください。学会側で準備した PC 以外での動作・接続不良によるトラブルの責はご容赦ください。

PC をお持ち込みの場合は、スクリーンセーバーや省電力機能が作動して発表中に電源が切れないように設定してください。またコンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。

- ⑥ 画面の解像度は XGA(1024×768)です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますのでご注意ください。

発表データの作成は、Windows 版 PowerPoint 2000/2003/2007 でお願いします。

Mac の方はあらかじめ Windows に変換してきてください。「図がずれないかどうか」あらかじめ確認をお願いします(ずれた場合でもその場では訂正できません)。

- ⑦ フォントは OS に標準装備されたもののみ (MS 明朝、MS ゴシック、Times New Roman、Arial、Century) をご使用ください。その他のフォントの場合は文字化けしてもその場では修正できません。
- ⑧ ファイル名は「演題番号(半角)」+「筆頭演者名」としてください。
- ⑨ 発表用 USB メモリスティックは、発表会場前の PC 受付で受け付けます。発表セッションの 20 分前にはお越しください(例: 11:10~11:55 の「精神保健」のセッションの演題 A-9~A-11 の発表者は、発表順にかかわらず 10:50 までにお越しください)。
- ⑩ 配付資料がある場合は、発表 30 分前までに 100 部、各会場の受付に提出してください。

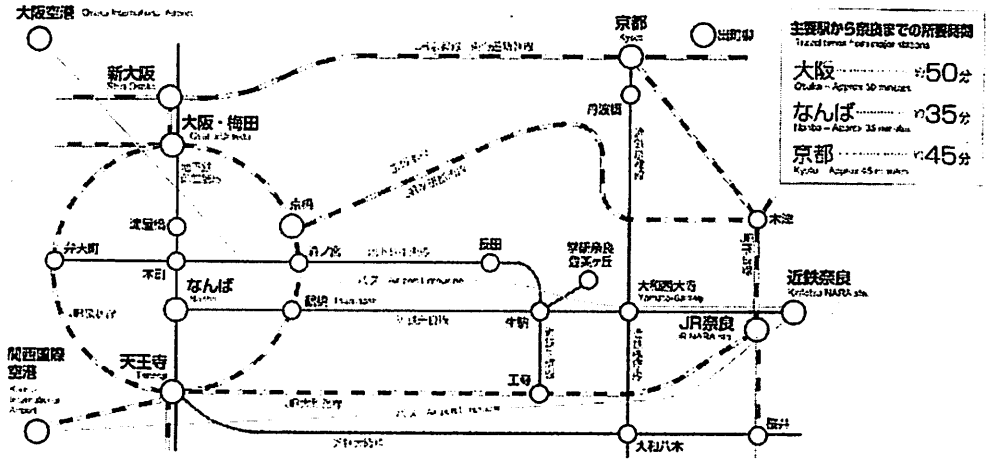
○座長の先生方へ

- ① 前座長の登壇後、前方の次座長席に、ご着席ください。
- ② 受け持ち時間の進行は一任しますが、1 題あたり 15 分以内でご進行いただきますよう、お願いします。
- ③ 慣例により、後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いします。学会本部へ提出をお願いいたします。締め切りは平成 21 年 7 月 31 日(金)です。その際、座長を務めていただいた発表の中から優秀な発表と認められるものを選んで、特に講評をお願いいたします。

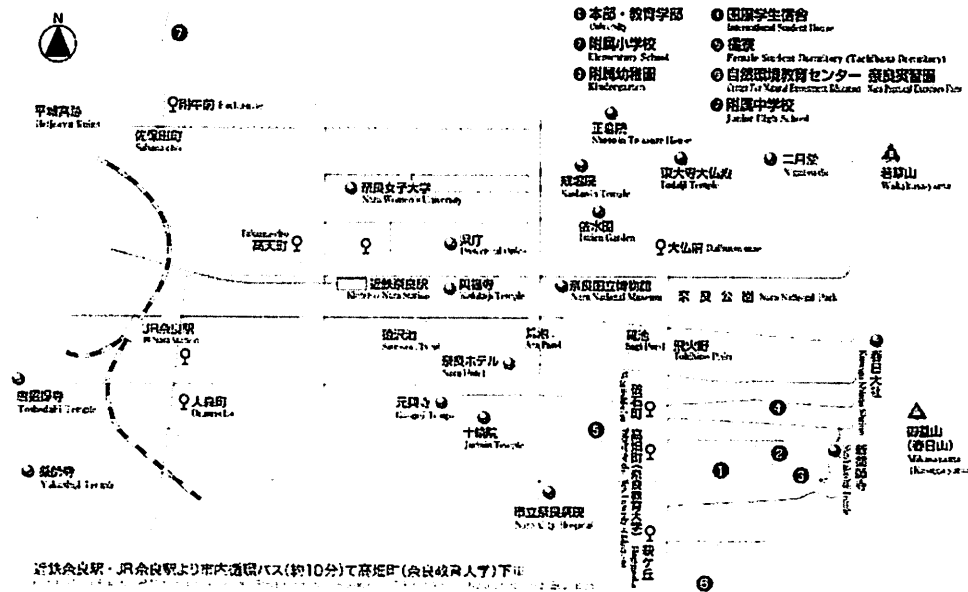
○その他

- ・学会開催時間内は、携帯電話などの通信機器類は、マナーモードにするか電源をお切りください。
- ・大学建物内は禁煙です。ご協力をお願いします。
- ・手荷物預かりのサービスは行いませんので、ご了承ください。
- ・懇親会は 18:00 から大学構内の学生会館・山田ホールで行います。当日申し込みも歓迎します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

【アクセスマップ】

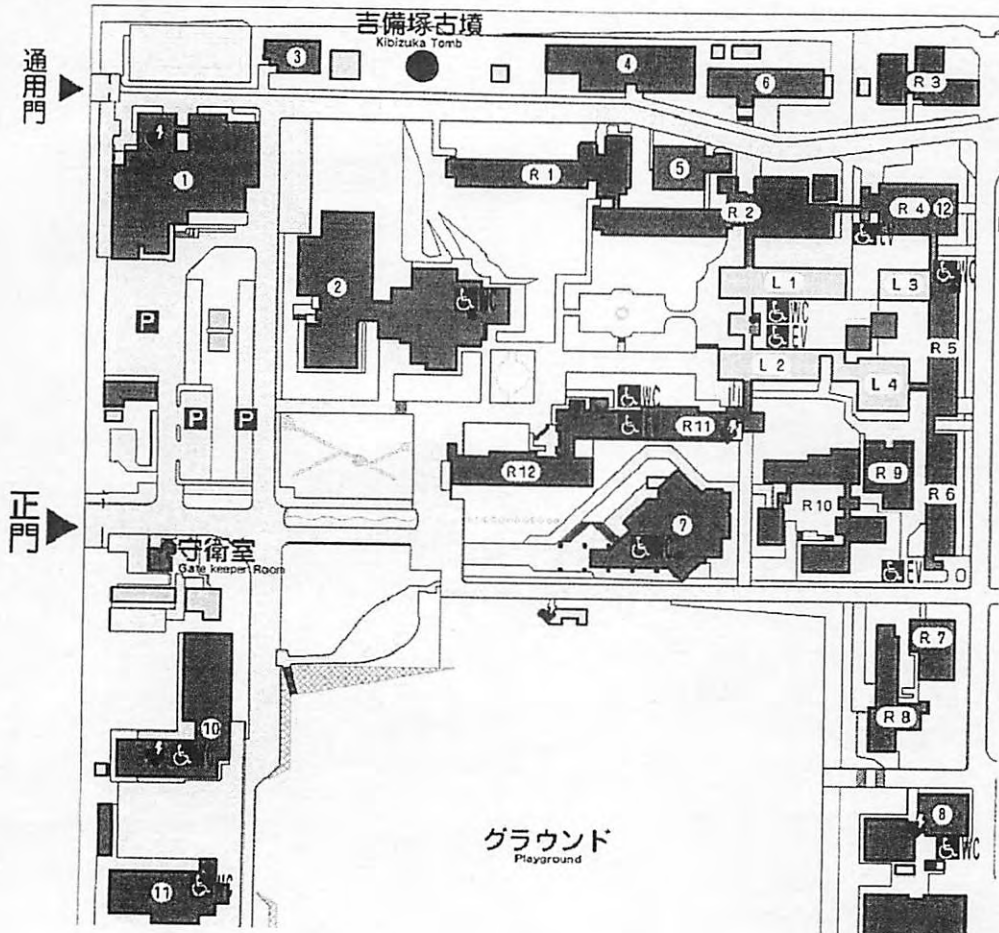


【大学周辺図】

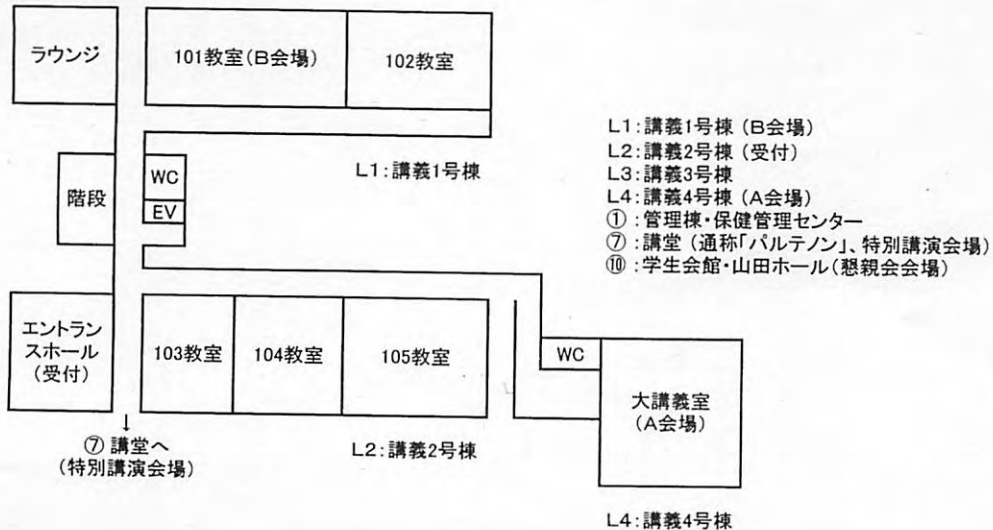


○近鉄奈良駅・JR奈良駅より市内循環バス(外回り 約10分)で高畑町(奈良教育大学)下車

【大学構内図】



【講義棟詳細図】



ライフスキル（心の能力）の形成を目指す

JKYB健康教育一日ワークショップ大阪 2009

期日：2009年6月21日（日）午前9時～午後4時半

会場：ECC 国際外語専門学校（大阪市北区中崎西 2-1-6）

09：00～09：30 受け付け（7階ラウンジ）

09：30～09：45 開会式（7階 701 & 702 号室）

初参加者コース 09：45～12：00（701 & 702 号室）	経験者コース 09：45～12：00（703 & 704 号室）
青少年の危険行動防止とライフスキル教育 （川畑徹朗）	朝ごはんを食べよう-食品表示の活用と朝食献立 （春木 敏）

12：00～13：00 昼食休憩

選択コース1「ライフスキル教育」 13：00～16：00（701 & 702 号室）	選択コース2「食生活教育」 13：00～16：00（703 & 704 号室）
セルフエスティーム形成を中心とした JKYBライフスキル教育の実際（川畑徹朗）	JKYB 食生活教育プログラム-理論と実際- （春木 敏）

16：10～16：30 閉会式（701 & 702 号室）

当日の参加受付はできません。参加を希望される方は必ず事前に参加申込をして下さい。
詳細は学会通信 No. 122 をお読みください。

胎生期・乳児期の栄養環境が悪いと、児は生後の栄養環境が悪いことを想定して、身体への投資を減少する。その結果、重複性の強い組織はその数を減少する。すなわち筋肉や骨格は小さい。腎臓ネフロンが少ないと高血圧に繋がるし、膵β細胞数も少ないとインスリン分泌予備能が減少し糖尿病になりやすい。このように栄養状態が遺伝子のプログラミングに影響を与えるのは、エピジェネティクスによると考えられる。すなわちDNAの塩基配列の変化なしに、栄養状態などの後天的な要因で、遺伝子発現が変化すると考えられる。栄養が遺伝要因と環境要因をつなぐ接点である。こうして生まれた子供が、生後の栄養状態が、胎内で予想されたとおりであれば、体格が大きいか小さいかの違いはあっても疾患をおこさない。しかし、生後も栄養環境が悪いと想定してプログラムされたのにもかかわらず、生後の栄養状態が豊かであれば、そこでミスマッチが生じ、肥満や糖尿病になると考えられる。

わが国では少子化が大きな問題になっているが、生下時体重 2500g 未満の低出生体重児はむしろここ 10 年で約 3 倍に増加している。この子供たちは生活習慣病のリスクの高い子供と考えられる。低出生体重児の増加の大きな原因として、若い女性の過度のやせと喫煙といわれる。現代日本では肥満が大きな社会問題である一方で、20～30 代女性の平均 BMI は 22 を下回って、やせが大きな問題である。これらを解決するためには、食育に続く若者に対する栄養教育が重要であり、学校保健に期待するところが大きい。

研究室便り

京都大学人間・環境学研究所 代謝・栄養学研究室

まずは、所属の説明が必要だと思います。私たちの所属は人間・環境学研究所共生人間学専攻認知行動学系、認知・行動科学講座になります。もうひとつ複雑なのは、担当学部は総合人間学部認知行動学系で、大学院と学部の名称が異なっています。歴史的いきさつ、何度かの改組で複雑になっており、京大内でもきちんと呼んでいただけない場合があります。もとをたどると教養部保健体育に行き着く縁で、学校保健学会とのつながりができたと理解しています。私たちの研究室は、糖尿病・肥満・メタボリックシンドロームなど生活習慣病を遺伝と環境要因との両面で研究をしています。教員である津田が今年60歳になり、定年まであと3~4年となり、今春気前よくポスドクや博士課程2年生を次の研究職に送り出し、研究室はずいぶん少人数になりました。実験室には本籍は農学研究科寄付講座のポスドク1名、修士2回生1名、1名は4月から群馬大学医学部に編入していきました。そして3名の1回生を迎えました。指導してくれる学年がいなくなりこれからは大変だと思っている毎日です。この研究室便りの目的が、これを読んであの研究室と共同研究したいとか、あの研究室に進学したいなどと思っていただくことだとしたら、あまり役に立たないのではないかと危惧しています。それでも私たちの研究室について研究テーマや論文など関心を持っていただけるのならホームページをごらんになってください (<http://www.keddy.ne.jp/~diabetes>)

学校保健の多くの課題の一つとして関心をもっているのは、若者に対する栄養教育の必要性である。最近、生活習慣病増加の一因として、儉約表現型仮説という考え方が注目されているので紹介したい。

この考え方の発端は、Ravelli らの報告である。第二次大戦末期、極度の食糧不足におちいったオランダで生まれた子供を追跡調査したところ、彼らが50歳をすぎると糖尿病、心筋梗塞、統合失調症などが多かった。その後も胎内の栄養環境と疾患の関連についての研究が報告された。Barker らは、生下時の記録が残されている子供たちの追跡調査を行い、胎生期に十分な栄養を与えられなかった低栄養児は、虚弱であり、大人になってから冠動脈疾患が多いことを報告した。Barker らはまた、2型糖尿病の発症が胎内での低栄養と関連することを報告した。このように、胎内および乳児期の栄養状態がよくないと、生まれた子供は生下時や乳児期の体格が悪く、大人になってから冠動脈疾患、脳血管障害、2型糖尿病、肥満、メタボリックシンドローム、さらには骨粗しょう症が発症しやすいという考え方は認められつつある。

平成21年度第1回近畿学校保健学会幹事会報告

日時 平成21年5月23日(土) 13:00~16:00
場所 奈良教育大学 管理棟2階 大会議室
出席 (幹事) 中川、林、八木、後和、白石、吉岡、川畑、中村、西岡、辻井、山本、武田、宮下、森岡
(オブザーバー) 中谷、笠次(年次学会事務局)、菱田(学会本部事務局)

議事

- (1) 第56回近畿学校保健学会年次学会について
辻井年次学会長および笠次年次学会事務局長より、第56回近畿学校保健学会年次学会の開催要項、プログラム、運営の案内について説明があり、質疑の後、一部修正の上承認された。修正原稿は、5月26日までに笠次年次学会事務局長が中村常任幹事へ送付することになった。また、「学会印象記」の執筆予定者2名についても報告がなされた。
- (2) 評議員会・総会資料について
川畑幹事長より、平成21年度近畿学校保健学会評議員会・総会資料について説明があり、質疑の後、原案どおり承認された。また昨年度逝去された橋重美名誉会員への黙祷は総会時に行うことになった。
- (3) 学会通信の発行について
中村常任幹事より、「学会通信」No. 123の企画案について説明があり、了承された。
- (4) その他
(ア) 名誉会員の推薦について
今回は推薦がなかった。
(イ) 「研究室紹介」について
次回は、西岡幹事(兵庫教育大学)が担当することになった。

幹事会終了後、笠次事務局長の案内で、会場の視察を行った。

編集後記

本号には、6月20日に奈良教育大学を会場として開催される、第56回近畿学校保健学会(辻井啓之会長)のプログラムと、翌日の6月21日に、大阪梅田のECC国際外語専門学校を会場として開催されるJKYB健康教育一日ワークショップ大阪(JKYBライフスキル教育研究会主催)のプログラム、ならびに京都大学の津田先生にご執筆いただいた研究室便りを掲載しました。学会は、非学会会員の当日参加も可能ですので、是非多くの方々をお誘いください。なお、ワークショップは当日受付を致しませんので、必ず事前に参加登録をして下さい。

学会では、会員のみならずの研究活動や実践活動に貢献できるように、会員に対するサービス増加や学会の活性化についてこれまで取り組んできましたが、それを今後も継続するためには学会員数の増加と財源の確保が必須です。特に、財源は会員数と連動しており、会員数の増加が望めない場合には、学会の活動自体も縮小を余儀なくされます。今後も、学会が存続し、会員の皆様方の研究活動・実践活動の発展向上につながりますよう、引き続き周囲の方々に本学会への入会を働きかけて下さいますようお願い申し上げます。

近畿学校保健学会常任幹事 中村晴信